

学校通信

# 陽光



令和4年度春休み号  
多可町立八千代中学校



令和5年3月24日（金）発行  
<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>  
電話 37-0049 文責：校長 神崎

## 「“自律”を目指して・・・」

学校長 神崎進吾

3月17日（金）、兵庫県立高等学校の一般入試の合格発表がありました。発表後、3年生たちは続々と学校に報告に来てくれました。3年間、苦労はあったと思いますが、それぞれに自分の進路をしっかりと切り拓いていきました。困難を乗り越え、目標を達成した彼らの晴れやかな笑顔は、とても爽やかでした。まさに「前途洋々」。4月からはそれぞれの進路で活躍してくれることを期待しています。

さて、3年生が卒業し、いよいよ1、2年生だけの生活がスタートしました。4月からはそれぞれ1学年進級します。2年生は「中だるみ」しやすい学年とも言われています。1年生の頃のような緊張感も薄れ、かといって受験はまだピンとこない。まだ、先のことに感じる学年でもあります。3年生は、いよいよ「自分の進路を決定する学年」になります。そして、「受験勉強」と「最上級生として学校行事や部活動等で中心となり下級生をリードしていくこと」、その両方が求められる多忙な学年でもあります。

それぞれの学年を充実したものにするために求められるのは、まさに「自律（自らを律すること）」です。弱い自分、楽な方へ流されそうになる自分、それを律するのは、自分以外にあり得ません。

「マシュマロ・テスト」という実験があります。これは1969年にアメリカのスタンフォード大学で行われた心理実験です。4才の子どもの目の前にマシュマロを1個置きます。そして、実験者が「ちょっと出てくるね。私が戻ってくるまで食べるのを待っていたら、もう1個マシュマロをあげるね。でも、我慢できなかつたら、食べていいよ。」と行って部屋から出て行きます。目の前のマシュマロ。すぐに食べれば、確実に1個、口にできる。しかし・・・、我慢すれば、合計2個、食べられる！。この間の子どもの行動をつぶさに観察した実験が「マシュマロ・テスト」です。

スタンフォード大学では、この実験を500人余りに行いました。その結果、3分の1の子どもが、実験者が立ち去ったらすぐに食べてしまい、3分の1の子どもが、我慢していたけど、我慢しきれなくなって途中で食べてしまい、3分の1の子どもが、15分という長い時間我慢し、2個目をもらいました。

スタンフォード大学では、その子どもたちが青年になったときの追跡調査を行いました。その結果、まず、学習面で大きく差が出たそうです。SATというアメリカの大学進学適性試験の平均点で、210点もの差がついたそうです。また、我慢して食べなかった子どもたちの方が、食べてしまった子どもたち以上に、大人になって収入の平均値が圧倒的に高かったということでした。さらに、人間関係や行動力・判断力など、社会性の面でも優れており、社会的にも成功した人が多かったそうです。

この実験は、厳密に科学の実験と呼べるかわかりませんが、この実験から、私たちが学ぶことはたくさんあります。

それは、子ども時代の我慢強さ、辛抱強く取り組むことが、その後の人生に大きな影響を与えるということです。これは歯を食いしばって誘惑に耐えるということではありません。マシュマロを食べずに我慢した子どもたちは、「楽しみは取っておく、そうすれば楽しみは2倍になる」と考えました。つまり、今、



一時の辛抱をすれば、必ず自分にとってプラスになると考え、先を見通すことで、目の前の欲望に打ち克ったのです。この先を見通し、目先の欲望に負けず自分を律するというのが、将来の成功においてとても重要だということです。

2月に生徒の皆さんや保護者の皆様にお世話になった「学校評価アンケート」の結果からは、やはり、「学力向上」「読書習慣」「家庭学習の習慣化（予習・復習）」「基本的な生活態様の確立（スマホ、ゲーム等メディアの使い方）」といったあたりに課題があることが浮き彫りになっています。結果をもとに、先日、学校評議員会でも協議を行いました。その中で頂戴した意見は概ね以下のとおりです。（※学校評価の結果については、HPに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。）

「学力を身につけるためには、授業改善（教員が授業力の向上を図ること）はもちろんのこと、やはり、生徒の家庭での地道な家庭学習（特に復習）が欠かせない。授業を一度受けたくらいでは、漢字や単語等を書くことができるようにはならない。家庭で復習をして、何度も何度も書いたりして覚える努力が必要である。その他の教科も同じ。授業が理解できるのと問題が解けるようになるのとの間には差がある。どの教科も復習をし、問題演習等をしないと定着しない。その地道な努力が不十分ではないのか。家に帰ってゲームやスマホで動画視聴等に費やす時間が多く、家庭学習や読書に向かう時間が少ないのではないか。」

授業を見ていまして、何度声かけをしても宿題をしてこない者、してきても答えを丸写しして提出する者、小テスト、単元テスト等のテスト勉強をしてこない者が例年に比べて多く、地道な努力を嫌う傾向が強いと感じます。

たしかに、我々大人が子どもであった頃と比べ、スマホも普及し、ゲーム機なども飛躍的に改良が進み、生徒たちが夢中になるのも頷けます。しかし、そんな環境だからこそ、そういったメディア等の使い方を考え、楽な方へ流される自分を律し、家庭学習に向かう。そのこと無くして学力は身に付きません。生徒たちには是非とも『自らを律することができる人』になってほしいと思います。

年度が替わるこの春こそ、自分自身を変える大きなチャンスです。皆さんには、ぜひ、目の前の一個のマシュマロを我慢して、より大きな目標を達成できる人になってもらいたいと願っています。また、保護者の皆様におかれましては、是非とも子どもたちの「心の支え」そして「良き壁」として、子どもたちの成長を支えていただければ幸いです。お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 3月の教育活動

### <生徒会企画、ハンドボール大会>

2月28日（火）、定期テスト最終日。5・6校時に、生徒会企画で競技大会が開催されました。種目はハンドボール。この種目は競技大会で初めての試みです。久しぶりに体を動かすこともあって、みんなそれぞれに思いっきり体を動かして楽しくプレーをすることができました。生徒会の皆さん企画・運営、ありがとうございました。



### <2年生、校外学習（神戸）>

3月3日（金）、2年生が神戸で校外学習を行いました。天候にも恵まれ、班別行動には絶好の日となりました。3年生の修学旅行でも東京での班別自主研修を予定しており、そのためステップアップを目標に企画されたこの校外学習。「メリケンパーク」を出発し、チェックポイントの「人と防災未来セ



ンター」を経て、ゴールは「神戸空港駅」。この日のために、各班で事前にしっかりと計画を練っており、神戸での班別自主研修は充実したものになりました。中には、多少のハプニングが起こったようですが、それもよき経験となったことと思います。生徒たちの声（印象に残ったこと）をいくつか紹介します。

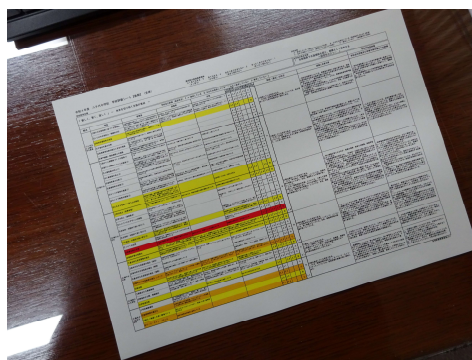
- ・電車の乗り場を間違えたのが印象に残った。電車が来る1，2分前にまちがいに気がついて、みんなで駅のホームを走り回った。なんとか電車に間に合ったのでよかった。
- ・初めて子どもだけで電車に乗ったことです。切符を買う時に、買い方がわからなくてあせりました。でも駅でどの場所かわからなかった時に親切におばさんや駅員さんが教えてくれたので嬉しかったです。
- ・切符を買うのも、どの電車に乗るのかも全部、同じ班の子に教えてもらった。私はもっと自立しなければならないと思った。
- ・都会はあいさつをしないことです。ふつうだったら出会ったらあいさつするけど、都会の人は全然あいさつをしません。あいさつをしないと少し悲しくなるなと思いました。
- ・電車に乗る際に、たくさんの人に頼ったこと。全員しゃべったことのない人だったけど、勇気を出して乗る電車を聞いたり駅までの道を聞いたりできました。



- ・4時間の中でいろんなところに行けたのが印象に残っています。配られたスマホで地図を見たり、電車の乗り場へスムーズに行けたのが良かったと思います。また、「時間がないから、行くところをやめて別のことをする」ことにしたのも良い判断だったと思いました。
- ・まず、自分たちで1から行く場所とかを決めて、電車とかの時間を調べたりするのは大変でした。でも班のみんなと協力していっぱい考えられたので楽しかったです。当日は、はじめの出発時間が遅れてしまって決めた時間どおりにはいかなかったけど、自分たちがやりたいと思ったことはその時間の中でできたので、良かったです。次、こういうことをするのは、来年の修学旅行だと思うので、その時は、また、班の人たちと協力してやりたいです。

## <学校評議員会>

3月6日（月）夜、学校評議員会を開催しました。学校から、今年度の学校の様子や2月に行った学校評価の結果をもとに本年度の教育活動について説明を行った後、各委員の方からご意見をいただきました。保護者や地域の方といった外部の目で、学校の教育活動を見ていただく良い機会です。ふるさと教育や新学習指導要領に基づく授業、家庭学習や読書活動、スマホやゲーム等との向き合い方、部活動等、幅広く様々な角度からご意見を賜り、とても参考になりました。賜った意見を活かし、今後の学校の教育活動の検討及び改善をすすめてまいります。ご意見を取りまとめたものを学校評価の結果とともに、近日中にHPにアップいたします。委員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。



## <3年生を送る会>

3月13日（月）、4校時に「3年生を送る会」を行いました。これは2年生の新生徒会役員が中心となり企画したもので、あいにくインフルエンザが流行していたため、計画していたゲームは中止になってしまいましたが、3年間の思い出やお





世話になった先生方へのインタビューを盛り込んだ「思い出ムービー」、さらには本校卒業生である「翁田大勢さんのお祝いメッセージ動画」を上映。ほっこりと心温まる楽しい一時を過ごしました。3年生も、また一つ思い出を胸に卒業することができました。2年生の皆さん、ありがとうございました

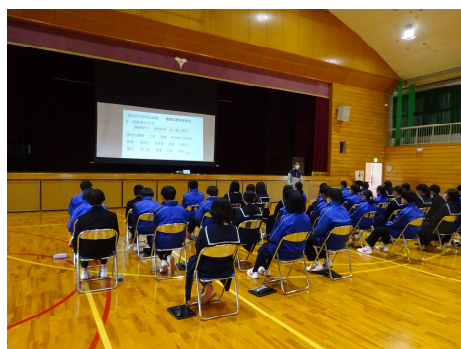
## <小学生、体験入学>

3月16日（木）、小学生の体験入学でした。この日のために生徒会役員は、学校案内の動画を作成したり、司会進行や運営の打ち合わせをしたりと大忙しでした。来てくれた6年生も礼儀正しく、気持ちの良い挨拶をしてくれました。みんなで学校案内の動画を観た後は、生徒会役員の引率でグループごとに分かれて授業見学に、さらにその後は部活動見学に行きました。少しでも中学校生活がイメージできたのではないのでしょうか。



## <人権学習>

3月16日（木）、1年生が人権学習に取り組みました。本校では、多可町教育委員会の人権教育コア・カリキュラムに基づき、各学年の道徳科の年間計画の中に、いじめ（ネット上のいじめも含む）をテーマとした教材を配置し、それを核に同和問題、障がい者、高齢者、在日外国人、男女共同参画、LGBTQ等の人権課題をテーマとした授業を4時間程度位置づけ、系統的・総合的に人権感覚を育ていけるようカリキュラムを編成しています。また、総合的な学習の時間には、「人権の歴史」をテーマとした学習を位置づけ、3年間で系統的に学びを進めています。今回は、その「人権の歴史」を学ぶ一番最初の授業でした。部落差別のおこりについて学習を進めました。少し難しい内容ですが、まず、正しく知ることが、これら人権課題を考える上での第一歩になります。これから少しずつ学びを深めていきましょう。



## <1年生箏曲演奏会>

3月17日（金）、1年生が箏曲発表会を行いました。3学期から練習を始めたこの箏曲。日頃、和楽器に触れる機会は無かったにありません。この日のために、時間を見つけては練習に励んできました。級友や先生方など多くのギャラリーに囲まれての演奏会。緊張しつつもしっかりと演奏しました。箏曲では礼儀作法も大切です。「礼に始まり礼に終わる」一連の作法に則り、演奏を進めます。凜とした雰囲気の中、響き渡る涼やかな音色。伝統ある日本の和楽器の魅力を知る良き機会となりました。



## <2年生、こころの健康教育～ストレスコーピング>

3月23日（水）、村上養護教諭の指導の下、「こころの健康教育」の授業で「ストレスコーピング」の学習を進めました。社会生活を営む以上ストレスはつきものであり、これらに対しての正しい対処法（ストレスコーピング）を身に付け、上手に対応できることが不可欠です。今回の授業では、ストレスサー、ストレス反応、ストレスコーピングという一連の流れについて復習した後、グループごとに分かれて、自分の考えたコーピングについて、それぞれ、良いコーピングと悪いコーピング、簡





単なコーピングと難しいコーピングといった指標で分類しました。良いコーピングのポイントは次の4つです。①自分に優しい、②他人に優しい、③物に優しい、④どこでも簡単にできる。その後、「最適緊張」等リラクゼーションについても実際にやってみました。避けて通れないストレスに対して、自分なりの対処法を見つけ、上手に付き合っていきたいものですね。

## ○クロームブックの使用ルールの遵守について

多可町では、学習ツールとして活用するため、生徒一人ひとりにタブレット（クロームブック）を、多可町教育委員会より貸与しています。本校でも授業で積極的に活用しており、その成果もみられます。多額の税金を投入し、貸与している目的は、もちろん学習活動のためです。そのため、ゲームや音楽を聴くなど学習活動に関すること以外には使いません。このことについては、年度当初にも「タブレット端末の取扱い注意事項」で確認しているところ です。



しかしながら、貸与がはじまってから3年が経過することもあり、その使用に緩みがみられます。ルールを守らず、休み時間にゲームや動画視聴等、目的外の使用をする生徒が出てきています。（※どのような使用をしているかは、その端末のログを見ればわかります。）また、乱雑な扱いが原因での破損が目立ちます。今一度、「学習で使用するために貸与されている」という原点に立ち返り、正しく丁寧にタブレット（クロームブック）を使用してください。なお、春休み中は、メンテナンスのため機器を回収しています。新年度から今一度仕切り直しをし、正しく丁寧に使用しましょう。

もう一度、確認すること

○丁寧に扱う

○持ち運びの際は、専用のケースに入れる。

○学 習 ツ ー ル と し て 、 学 習 以 外 の 目 的 外 使 用 を し な い 。

○ネットモラルを意識して使用する。

## キ リ ト リ 線

《第15号（春休み号）返信欄》

年 組 番 氏 名 ( ) の 父 親 ・ 母 親 ・ 祖 父 ・ 祖 母 ・ 兄 ・ 姉 ( 掲 載 可 ど ち ら で も 掲 載 不 可 )